

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村 紀子
全体計画	令和 5年度 ~			経費区分	実施計画事業費		内線	3622			
事務事業名	4314 文化財調査研究事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費									
	事業	010000 文化財調査研究事業									
事業目的						事業概要・効果					
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。国の重要伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業を進め、町並みの保存活用を図る。						埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また、文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等により文化財の保護を行うとともに、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。また歴史的町並み保存・活用のため、国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し必要な調査・研究を本格的に実施する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建や国登録名勝などの予備的調査を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建選定を目指した基礎的調査の調査・研究を行った。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の検討を図るとともに、重伝建選定を目指した基礎的調査の調査・研究を行った。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建選定を目指した各種調査・研究・調整を行った。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進める。また重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進める。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		17,385	42,881
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	8,485
	地方債	0	0
	その他	1,054	10,072
一般財源		16,331	24,324
人員数 (人)	正規職員	1.3	1.0
	嘱託職員	1.4	0.4
	臨時職員	0.0	1.0
人員 コスト	正規職員	9,444.5	7,265.0
	嘱託職員	3,960.6	1,131.6
	臨時職員	0.0	1,298.0
	計	13,405.1	9,694.6
市民一人当たりの経費		0.6	1.0
総額		30,790.1	52,575.6

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	448	調査指導等謝礼448
11節 需用費	993	埋蔵文化財等消耗品447、食糧費8 調査記録写真81、燃料費195、埋蔵文化財整理室光熱水費213、修繕費49
13節 委託費	3,474	伝建調査委託2,000、遺構測量委託110、発掘調査に係るシルバー委託費1,146、文化財説明看板設置194、コピー機保守24
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5	文化財各種協会等負担金5
その他	12,465	作業員賃金5,603、重機等借上料2,993 ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	500	伝建専門委員会委員謝礼336、調査指導等謝礼164
10節 需用費	2,332	埋蔵文化財伝建等消耗品1,000、調査記録写真612、埋蔵文化財整理室光熱水費359、修繕費53、燃料費300、食糧費8
12節 委託費	18,327	発掘調査に係るシルバー委託費4,000、遺構測量4,050、掘削業務委託10,000、文化財説明看板設置205 ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5	文化財各種協会等負担金5
その他	21,717	作業員賃金12,400、重機等借上料6,600 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認については、行政が重要な役割を担っており、かつ法的にも実施しなければならない事業である。また、新規の市指定文化財の指定や重伝建選定を目指した各種調査・研究は「文化・歴史を大切にしまちづくりの推進」という目標に大きく寄与している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	埋蔵文化財の調査確認を実施し、適切な保護が図れた。また、歴史的な町並みを保存するため伝統的建造物の調査を進め、これにより市内の伝統的建造物の具体的な価値や状況が明らかとなった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性の向上には努めているが、埋蔵文化財調査には人件費や重機の使用など多額の費用がかかる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の調査は専門的な業務であることから、人員を長期的に育成する必要がある。 伝統的建造物の保存について、地元への説明が不足しており、事業への理解を深め、重伝建地区選定に向けた意識の向上が課題である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

- ・大規模開発に伴う埋蔵文化財調査等をスケジュール感をもって行う。
- ・重伝建制定に向けた住民意識向上を図る。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

- ・重伝建選定に向け地域住民はもちろんのこと、市民の理解が進むよう取り組む。
- ・埋蔵文化財調査に柔軟に対応できるような組織体制
- ・運営を検討する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--